

和太鼓を学びました！

音楽の授業の一環で、出雲市で活動しておられる「神戸川太鼓」さんに来ていただきました。はじめに演奏を聴かせてもらった時は、和太鼓の響きや音・かけ声の迫力にびっくりしましたが、驚きながらも自然とリズムをとって演奏に引き込まれていきました。



今回のワークショップで教えてもらったことを授業で練習し、7月に予定されている神戸川太鼓さんの和太鼓鑑賞では生徒たちと神戸川太鼓との合同演奏をおこないます。今日は、ばちの持ち方や太鼓の打ち方などのアドバイスをもらいました。



ワークショップで教えていただいたことを音楽の授業で取り入れ、鑑賞会の合同演奏へ向けて練習を頑張りました。合同演奏の中ではひとりひとりが考えたオリジナルの拍子を叩きます。本番で自分が考えた拍子を上手に叩けるように何度も練習を繰り返しました。また、神戸川太鼓さんに教えていただいた太鼓を打つ時の手の上げ方や、姿勢も意識しています。生徒全員で同じ拍子を叩くパートも、みんなで気持ちをそろえて叩く練習を繰り返して頑張りました。

そしてついに鑑賞会と合同演奏の日がやってきました。

まずは神戸川太鼓さんの演奏を聴きました。最初の曲で「ドン！」と大きな音がするとびっくりして身体が動いていた生徒達もいましたが、次第にその音にも慣れて迫力のある動きや響きを全身で感じ、見入っていました。



続いて太鼓の体験があり、珍しい大太鼓や長胴太鼓の面やフチを叩いて、色々な音や響きの違いを味わいました。実際に大太鼓を叩いてその迫力を間近に感じたり、太鼓の皮が振動しているところに手を当てて振動を確認したりと、普段体験することができないことを体験させてもらいました。



そしていよいよ合同演奏です。順番を待つ姿から、一生懸命練習を積み重ねてきたからこそ良い演奏をしたいという緊張感が伝わってきました。でも、さすがは高等部の生徒たちです。演奏が始まるとみんな落ち着いて自分らしい素敵な演奏ができ、ギャラリーからたくさんの拍手を浴びました。とても素敵な合同演奏でした。

たくさん練習をしてきたから成功させたいという気持ちも高まって緊張をしたかもしれませんが、普段生活する中で感じたことのない気持ちを感じたことも、その緊張感を乗り越えて良い演奏ができたことは、生徒にとって良い体験になったと思います。

